

2023年度厚生労働省医政局委託事業
「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」

連携型BCP/地域BCP策定モデル地域

北海道十勝圏域における取組み

訪問看護ステーションかしわのもり 松山 なつむ

イナガミ薬局 宇野 雅樹

清水町役場 寺本 圭佑

北海道、十勝、鹿追町とは



地理



北海道は14地域に分かれ、十勝が最も広い面積を有する。平地が多く、1次産業が盛ん。食料自給率は1220%（2020年）
標高2000m級の日高山脈を越えなければ、札幌等の主要都市へ行くことができない。

歴史



北海道は、屯田兵と呼ばれる公務員が開拓したエリアと民間会社が開拓したエリアがある。
十勝は民間が開拓したエリアであり、民間が中心となって新しいことを創出する文化がある。

風土

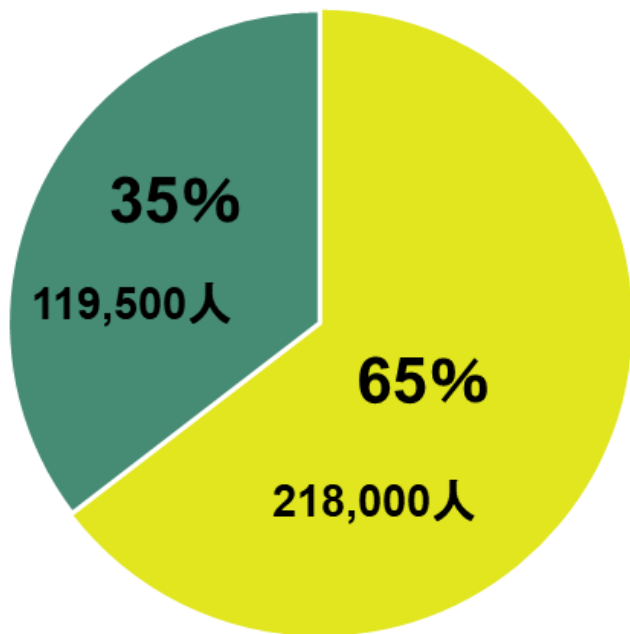


地理的条件と歴史から、十勝というエリアの中で経済が循環し完結する風土がうまれた。
十勝モンロー主義と言われ、経済だけでなく、医療・福祉も同様に市町村単位ではなく、オール十勝でまとまることの強さがある。

十勝の人口、訪問看護・相談支援事業の範囲

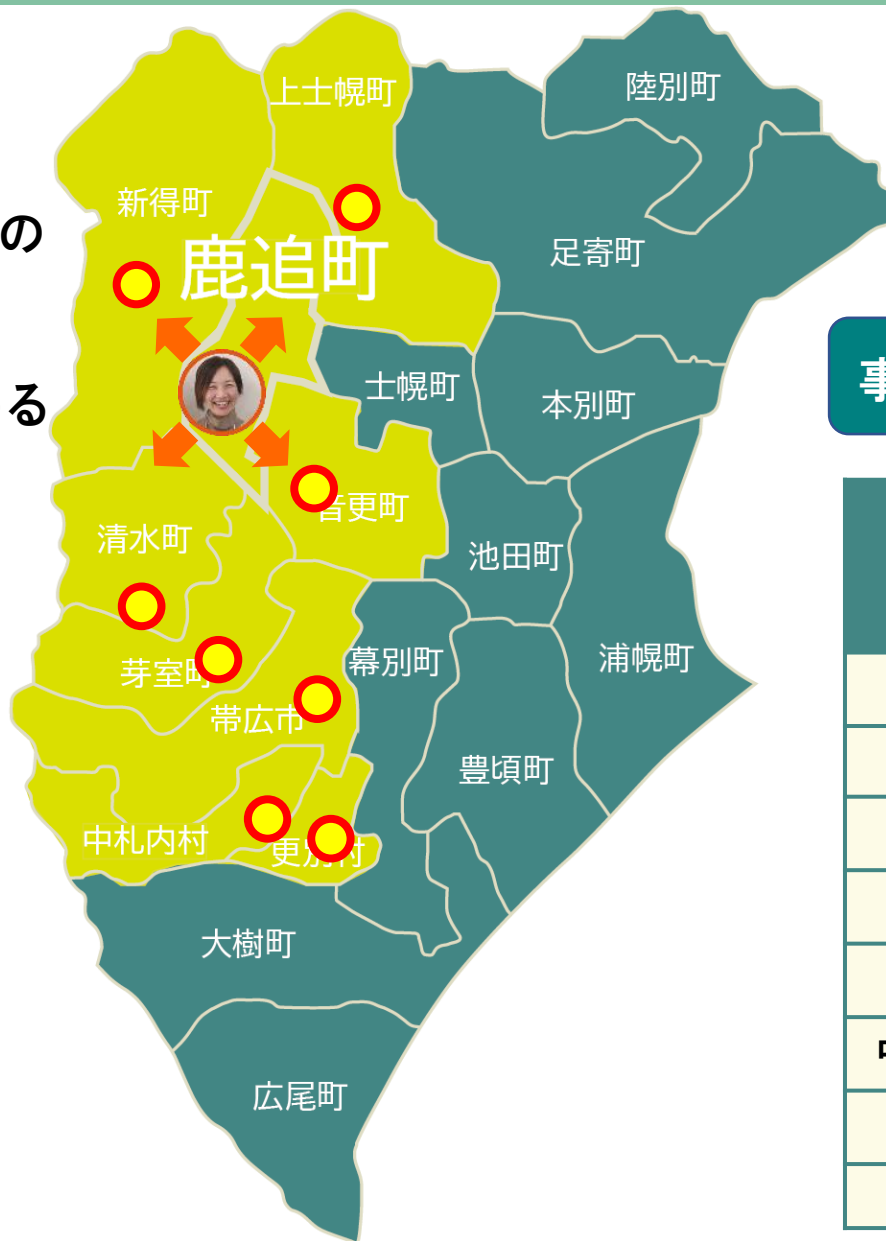
人口

十勝（19市町村）
34万人



訪問範囲

訪問自治体の
総人口は
十勝全体の
65%を占める



事業連携

	連携機関		
	医療機関	福祉機関	保育園 小学校
鹿追町	2	3	1
新得町	2	4	
清水町	3	3	
芽室町	4	9	3
更別村	1	4	
中札内村	1	4	1
帯広市	13	10	
士幌町	1	1	

わが地域の課題

- これまでの被災経験
2016年8月 台風10号豪雨による十勝土石流による断水



わが地域の課題

- これまでの被災経験
2018年 胆振東部地震の影響によるブラックアウト



わが地域の課題

・連携型BCP・地域BCPとして考えるようになった理由

1. 防災・減災を専門職だけで考えると、災害時には機能しにくい。生活の中に長く蓄えられた知恵や、平時からそれぞれの地域の自然・文化・風習を見直すだけでも減災の行動につながる
2. WHO憲章に定義される健康、つまり単に疾病又は病弱の存在しないことではない健康な暮らしに、共通の価値を見出す地域であれば、災害時に引き算の医療・ケアに対する不安や抵抗は少ない

・わが地域のBCP観点からの課題

それぞれの町村単位又は専門職単位で考えると「ない・ない」の議論になり、アイデアやモベーションが萎縮する傾向にある。

今年度の取り組み(1)

- ・目的
 - 1. 既存のシステムやツールを、発災時にアップデートして活用できる
- ・実際にどのようなことにチャレンジするのか
 - 1-1. 十勝における地域BCP検討会の開催
 - 「地域BCPを考える
～ICTツールを活用した災害時の情報共有の課題と可能性～」
平時に活用しているICTツールは、個を中心にした情報網で関係機関が共有している。災害時は個の枠組みを一部一時的に解除して、情報収集の効率化と質の向上、受益者の保護につなげる。
 - 1-2. 検討中
 - ↓
 - 1-1・2により、災害時の医療者が本来必要なケアに向き合う時間を確保する

今年度の取り組み(1)

- ・目的

- 2. 田舎で暮らす医療的ケア児の災害時支援の必要性を、意識する地域へ

- ・実際にどのようなことにチャレンジするのか

- 2. 災害時における、医療的ケア児の圏域を越えた支援体制の構築を図る

人工呼吸器など電源確保が不可欠で、専門性の高いケアを必要とする重度の医療的ケア児は、十勝に推計約30名は存在する。一方で、十勝でこれらの子ども達を緊急で受け入れできる医療機関は限られており、災害時はその医療機関は他の在宅療養患者や災害による傷病患者への対応・受け入れ等役割は多大である。



北海道という広大で自然環境に厳しい環境においても、平時に連携体制整備を図ることで、災害時の初動に起こる混乱を最小化

今年度の取り組み(2)

・必要な支援

1. 日常の暮らしの中にある価値(知恵やつながり)を見つけたことを、地域の不特定多数の方と共有するための手段や表現方法の助言が欲しい。
2. 同じような取り組みをしている他の地域の活動を知りたい。

・具体的スケジュール

- 7・8月 コアメンバーと今年度の取り組みについて検討
- 10月 ・三師会(医師会・歯科医師会・薬剤師会)、訪問看護師会及びヘルスケア企業との協議会
 - ・D24Hを使った訓練の検討
- 11月 医療的ケア児の災害の備えと、地域医療連携についての検討会
- 12月 中間のまとめ
- 1月 住民向けワークショップ
- 2月 今年度の活動のまとめ

今年度の取り組み(3)

・7月1日以降の進捗

7月 コアメンバーと勉強会&打ち合わせ

8月 今年度の取り組み計画立案

9月 検討会の企画・趣旨説明まわり、周知
「地域BCPを考える
～ICTツールを活用した災害時の情報共有の課題と可能性～」

10月31日 検討会開催予定